



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年10月30日

上場会社名 榊本興業株式会社

上場取引所 東

コード番号 8052 URL <http://www.tsubaki.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 香田 昌司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員 (氏名) 春日部 博

TEL 06-4795-8806

四半期報告書提出予定日 2019年11月12日

配当支払開始予定日

2019年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	57,197	7.1	3,078	8.8	3,287	8.7	2,169	6.1
2019年3月期第2四半期	53,386	14.7	2,829	72.5	3,022	67.1	2,044	66.5

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 1,526百万円 (47.6%) 2019年3月期第2四半期 2,914百万円 (69.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	346.48	
2019年3月期第2四半期	326.46	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	67,020	24,852	36.7
2019年3月期	75,739	24,089	31.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 24,626百万円 2019年3月期 23,876百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		30.00		120.00	150.00
2020年3月期		30.00			
2020年3月期(予想)				90.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2019年3月期の期末配当金には、特別配当30円が含まれております。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	6.9	4,730	16.8	5,000	16.9	3,450	16.0	551.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	6,497,969 株	2019年3月期	6,497,969 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	237,139 株	2019年3月期	237,030 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	6,260,868 株	2019年3月期2Q	6,261,262 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
3. その他	12
・補足情報	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、米中間の貿易摩擦が継続し、日本企業にも多大な影響がおこる懸念の中、比較的安定した推移を続けてまいりました。

このような状況下にあつて、当企業グループでは、比較的好調な業種を中心に国内外での設備投資需要に積極的に対応してまいりました。

この結果、受注高は前年同期に比べ若干減少いたしましたものの、売上高や利益につきましては、期初の予想に比し増加いたしました。これは、半導体関連業界以外の民間設備投資需要が総じて予想程度にまで低下しなかったこと、グループ全体の受注残高を順調に売上計上することができたことなどによるものであります。また、親会社の大口受注案件の工事の進捗が早めに進行しており、当初予想に比べ、工事進行基準売上高が増額しております。これらにより、利益面でも各利益が増益となりました。

また、第2四半期累計期間では売上高・各利益について連結・単独ともに過去最高を更新いたしました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、

売上高	5 7 1 億 9 7 百万円	(前年同期比 1 0 7 . 1 %)
営業利益	3 0 億 7 8 百万円	(前年同期比 1 0 8 . 8 %)
経常利益	3 2 億 8 7 百万円	(前年同期比 1 0 8 . 7 %)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2 1 億 6 9 百万円	(前年同期比 1 0 6 . 1 %)

となりました。

報告セグメントの業績は以下のとおりです。

東日本本部

北海道・東北・甲信越・関東地区が担当エリアであり、全体の売上高の約32%を占めております。

当第2四半期連結累計期間は、食品、物流関連業界の設備投資需要に寄与したことなどで、その売上高は、184億2百万円（前年同期比102.5%）となりました。

西日本本部

東海・北陸・関西・中国・四国・九州地区が担当エリアであり、全体の売上高の約52%を占めております。

当第2四半期連結累計期間は、液晶画面関連製造装置の大口設備装置が順調に売上計上していることに加え、他の設備装置案件等の売上が寄与したことにより、その売上高は、294億30百万円（前年同期比109.5%）となりました。

開発戦略本部

当企業グループ全体の海外ビジネスやマテリアルビジネスを担当し、それらビジネスの拡大や、制御・センシングビジネスに向けた新商品の開発にも取り組んでいる部門で、その売上高は全体の約16%を占めております。

当第2四半期連結累計期間は、海外子会社については、各国の設備投資需要の増加に伴い、前年同期に比べ売上高が増加いたしました。また、マテリアルビジネスについては、介護・衛生関連商品にかかる不織布や紅茶包装機等の売上を順調に拡大しております。制御・センシングビジネスについても前年同期に比べ着実に売上高を増加させております。これらを合計した売上高は、93億65百万円（前年同期比109.4%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

1. 資産、負債及び純資産の状況

① 資産

当第2四半期連結会計期間末の総資産は670億20百万円となり、前連結会計年度末に比べ87億19百万円減少いたしました。流動資産は81億17百万円減少いたしました。主な要因は、現金及び預金が72億26百万円、電子記録債権が11億4百万円減少した一方で、受取手形および売掛金が5億66百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は6億2百万円減少いたしました。主な要因は、投資有価証券の時価が前連結会計年度末に比べ下落したことにより9億30百万円減少したこと等によるものであります。

② 負債

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は421億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ94億82百万円減少いたしました。これは主に流動負債が95億17百万円減少したことによるものであります。その主な要因は、電子記録債務が76億0百万円、前受金が33億81百万円減少した一方で、支払手形及び買掛金が19億25百万円増加したこと等によるものであります。

③ 純資産

当第2四半期連結会計期間末の純資産の部は248億52百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億62百万円増加いたしました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益を21億69百万円計上した一方で、配当金の支払い7億51百万円を実施したこと、投資有価証券の時価が前連結会計年度末に比べ下落したことにより、その他有価証券評価差額金が6億66百万円減少したこと等によるものであります。

2. キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は108億89百万円となり、前連結会計年度末より72億26百万円減少いたしました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、使用した資金は62億4百万円となりました。この主な原因は、税金等調整前四半期純利益32億90百万円、売上債権の減少額5億34百万円等による資金の増加があった一方、仕入債務の減少額56億72百万円、前受金の減少額33億75百万円、法人税等の支払額12億75百万円等による資金の減少によるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、使用した資金は2億51百万円となりました。この主な原因は、固定資産の取得による支出1億30百万円等の資金の減少によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、使用した資金は7億67百万円となりました。この主な原因は、配当金の支払額7億51百万円等の資金の減少によるものであります。

通期のキャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは、不良債権の発生を極力抑制するとともに、債権回収の早期化の促進をはかること及び当企業グループ全体の資金効率向上等により資金充実を目指してまいります。投資活動及び財務活動によるキャッシュ・フローは、売上動向の変化に機敏に対応できる効率的な資金調達・運用を念頭に活動してまいります。

なお、当連結会計年度末の資金は、前連結会計年度末程度を予定しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の我が国経済は、消費税増税による消費減退や米中貿易摩擦の影響が日本企業へも徐々に波及することが懸念され、先行き不透明な状況が続くと思われまます。

このような状況下、当企業グループにおいては、人手不足に伴う省力化投資情報などを積極的に捕らえ、既存顧客への新たな商品提案、I o Tに対応する新商品の開発等を継続的に実践し、受注獲得に全力をあげる所存です。

先行き不透明な状況下でありますので、通期の業績予想は変更しないことといたします。今後、業績の推移を第3四半期に確認した上で、必要があれば通期業績予想を見直す予定であります。

(通期連結業績予想)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属 する当期純利益 (百万円)
通期	100,000	4,730	5,000	3,450

(通期個別業績予想)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)
通期	93,000	3,550	4,500	3,200

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,115	10,889
受取手形及び売掛金	30,224	30,791
電子記録債権	10,086	8,982
商品及び製品	2,399	2,651
仕掛品	569	502
その他	2,026	1,474
貸倒引当金	△207	△194
流動資産合計	63,214	55,097
固定資産		
有形固定資産	1,383	1,378
無形固定資産	159	133
投資その他の資産		
投資有価証券	9,875	8,945
長期未収入金	1,359	1,358
その他	1,258	1,618
貸倒引当金	△1,512	△1,510
投資その他の資産合計	10,982	10,411
固定資産合計	12,525	11,923
資産合計	75,739	67,020
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,839	19,764
電子記録債務	23,497	15,897
未払法人税等	1,137	919
前受金	5,800	2,419
役員賞与引当金	11	50
偶発損失引当金	208	208
その他	865	583
流動負債合計	49,359	39,842
固定負債		
退職給付に係る負債	1,829	1,860
長期未払金	213	213
繰延税金負債	27	23
その他	219	228
固定負債合計	2,290	2,326
負債合計	51,650	42,168

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,945	2,945
資本剰余金	1,805	1,805
利益剰余金	16,324	17,742
自己株式	△489	△489
株主資本合計	20,586	22,004
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,456	2,789
繰延ヘッジ損益	△1	△2
為替換算調整勘定	38	25
退職給付に係る調整累計額	△203	△190
その他の包括利益累計額合計	3,289	2,621
非支配株主持分	212	226
純資産合計	24,089	24,852
負債純資産合計	75,739	67,020

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	53,386	57,197
売上原価	45,202	48,557
売上総利益	8,184	8,640
販売費及び一般管理費	5,355	5,561
営業利益	2,829	3,078
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	163	164
持分法による投資利益	37	37
その他	41	46
営業外収益合計	245	251
営業外費用		
支払利息	2	2
売上割引	29	27
為替差損	4	—
その他	13	12
営業外費用合計	51	42
経常利益	3,022	3,287
特別利益		
固定資産売却益	—	3
特別利益合計	—	3
税金等調整前四半期純利益	3,022	3,290
法人税、住民税及び事業税	986	1,083
法人税等調整額	△6	18
法人税等合計	980	1,101
四半期純利益	2,042	2,188
非支配株主に帰属する四半期純利益 又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	19
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,044	2,169

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	2,042	2,188
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	901	△666
繰延ヘッジ損益	7	△1
為替換算調整勘定	△23	0
退職給付に係る調整額	4	12
持分法適用会社に対する持分相当額	△17	△7
その他の包括利益合計	871	△662
四半期包括利益	2,914	1,526
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,922	1,501
非支配株主に係る四半期包括利益	△8	25

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,022	3,290
減価償却費	67	81
引当金の増減額(△は減少)	14	23
受取利息及び受取配当金	△165	△167
支払利息	2	2
持分法による投資損益(△は益)	△37	△37
固定資産除売却損益(△は益)	—	△3
売上債権の増減額(△は増加)	1,423	534
たな卸資産の増減額(△は増加)	7	△184
仕入債務の増減額(△は減少)	1,740	△5,672
前受金の増減額(△は減少)	△2,919	△3,375
未払消費税等の増減額(△は減少)	350	△317
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	38	30
その他の資産の増減額(△は増加)	519	848
その他の負債の増減額(△は減少)	21	△174
その他	13	5
小計	4,099	△5,113
利息及び配当金の受取額	165	167
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△894	△1,275
持分法適用会社からの配当金の受取額	29	17
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,398	△6,204
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△333	△130
固定資産の売却による収入	0	3
投資有価証券の取得による支出	△12	△12
長期貸付けによる支出	△0	△3
長期貸付金の回収による収入	1	0
その他	△23	△107
投資活動によるキャッシュ・フロー	△368	△251
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△1	△0
リース債務の返済による支出	△4	△3
配当金の支払額	△438	△751
非支配株主への配当金の支払額	△2	△12
財務活動によるキャッシュ・フロー	△446	△767
現金及び現金同等物に係る換算差額	△15	△2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,568	△7,226
現金及び現金同等物の期首残高	14,070	18,115
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,638	10,889

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			合計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	東日本 本部 (百万円)	西日本 本部 (百万円)	開発戦略 本部 (百万円)			
売上高						
外部顧客への売上高	17,956	26,872	8,558	53,386	—	53,386
セグメント間の内部 売上高又は振替高	285	573	587	1,446	△1,446	—
計	18,241	27,445	9,145	54,832	△1,446	53,386
セグメント利益	867	2,150	295	3,313	△484	2,829

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,313
セグメント間取引消去	△0
全社費用(注)	△484
四半期連結損益計算書の営業利益	2,829

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			合計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	東日本 本部 (百万円)	西日本 本部 (百万円)	開発戦略 本部 (百万円)			
売上高						
外部顧客への売上高	18,402	29,430	9,365	57,197	—	57,197
セグメント間の内部 売上高又は振替高	142	447	448	1,038	△1,038	—
計	18,544	29,878	9,813	58,236	△1,038	57,197
セグメント利益	1,002	2,295	396	3,694	△615	3,078

(注) 各セグメントに属する主要な商品は下記のとおりであります。

セグメント別	主要商品名
東日本本部	変減速機等各種駆動部品、コンベヤチェーン等各種搬送部品、制御機器、各種センサー、電子機器、その他伝動機器
西日本本部	クリーンエネルギー関連設備、医薬関連設備、化学機械装置、水処理装置、食品機械、その他環境装置、工作機械、産業用ロボット、各種コンベヤ、各種自動化装置、立体倉庫及び自動仕分装置、各種輸送装置を含むFAシステム
開発戦略本部	海外における上記商品 各種不織布及びその加工品、各種合成樹脂成形機及び成形品、機能素材

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,694
セグメント間取引消去	1
全社費用(注)	△616
四半期連結損益計算書の営業利益	3,078

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. その他

・補足情報

受注、販売及び仕入の状況

① 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績を報告セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同四半期 増減比(%)	受注残高(百万円)	前年同四半期 増減比(%)
東日本本部	18,707	△8.0	15,558	+4.8
西日本本部	23,329	+1.9	22,127	+2.0
開発戦略本部	8,405	△8.6	4,287	△22.2
調整額	△1,092	—	△1,895	—
合計	49,349	△3.0	40,078	△0.3

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績を報告セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同四半期増減比(%)
東日本本部	18,544	+1.7
西日本本部	29,878	+8.9
開発戦略本部	9,813	+7.3
調整額	△1,038	—
合計	57,197	+7.1

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 仕入実績

当第2四半期連結累計期間における仕入実績を報告セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	仕入高(百万円)	前年同四半期増減比(%)
東日本本部	15,681	△0.0
西日本本部	25,566	+10.9
開発戦略本部	8,532	+8.5
調整額	△1,038	—
合計	48,742	+7.9

(注) 上記の金額は、仕入価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。